

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）  利用者だけでなく、管理者をはじめ職員もすべて地域の出身者であり、地域とのつながりは濃い。 小学校、保育園、老人会等の催し物には積極的に参加している。	評価
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）  行政の承諾を得て、隣地にある「さざんか第2」と合同で運営推進会議を開いている。 毎回土曜日開催として、出席者を増やそうとしているが、少人数での開催もある。 会議の最後に、出席者全員が必ず一言、意見や感想を述べることをルール化して活性化を図っている。	評価
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）  市役所と距離があることから、足しげく担当者を訪問することは不可能だが、管理者が、市の認知症ケア推進会議メンバーとして活動しており、相互の連携が図られている。	評価
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）  家族アンケートには、感謝と称賛の言葉ばかりが寄せられた。 母親がホームを利用している息子夫婦は、「自分たちも、夫婦どちらかが欠けたら、残った者はここで世話になる」と、全幅の信頼を寄せている。	評価
重点項目	その他軽減措置要件 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

隣地に立つ同法人が運営する姉妹グループホームと共同開催をしたり、開催日を土曜日として家族の出席者を増やそうと試みているが、少人数での開催もある。
--

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示）  自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示）  運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示）  運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。  市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示）  家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。